

日産シビリアン(W41型) 霊柩車解体マニュアル

本マニュアルは当社で架装した、日産シビリアン(W41型)を種車とした
霊柩車を解体する場合の手順および留意事項を記載したものです。
種車である日産シビリアンの解体要領については、日産自動車にお問い合わせ下さい。

-----目 次-----

1	表紙	-----	P 1
2	構造概要	-----	P 2.3
3	解体時の留意事項と解体手順	-----	P 4
4	解体手順と一般事項	-----	P 5

適用車両

(全容・納棺室内)



(全容・車内後部の納棺室外観)



- ・ 本マニュアルは、架装車両の架装部位の解体要領を示しています。
掲載の写真は実物と異なる場合がありますのでご了承願います。
- ・ このマニュアルは解体作業の参考として提供させて頂くものです。
本マニュアル以外の一般的な部位の解体に当たっては、解体業者様にて
ご判断の上、作業して頂きます様お願い致します。

新規発行	10-9-21	N	飯塚	斗林	近藤
変更内容	発行日	NO	部長	課長	担当

1. 構造概要

本車両は日産シビリアン(W41型)を種車として、車内左後部に納棺室を架装したものです。

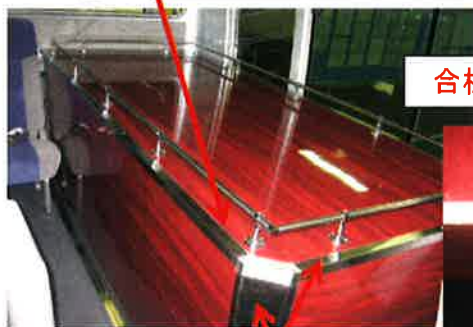
納棺室の構造は、主に鉄製骨格(角パイプ)及び合板とステンレス板をビス及びリベット止め、接着剤で組合せたものです。

▼主要部品の構成と材料

①	納棺室外壁(客室側:天板及び側面) 合板(メラミン化粧合板+合板)を納棺室骨格に接着剤で固定。その縁材としてステンレス板をビス止め。天板の上周囲(祭壇飾り)に首長ブラケットでパイプ(Φ19ステンレスベニヤ)を固定。
②	納棺室扉 扉本体は鉄製骨格に扉形状にカットした車体外板パネルを溶接付け、内面側はステンレス板をビスで固定。扉外側に樹脂製の鍵付き取っ手(内部にロック部品をビス止め)を取付けたもの。扉上面に全開時の扉ストッパー(ステンレス製)をビスで固定。 扉は車体後面の扉枠に蝶番をビスで固定。
③	納棺室内床面 鋼板をボルトで左右の骨格枠間に固定、その上に合板を接着剤で張付け、更にその上にステンレス板をリベットで固定。 納棺室内天板 鋼板をボルトで左右の骨格間にリベットで固定、その内面にステンレス板をリベットで固定。 納棺室内側面 左右の側面にステンレス板をリベットで固定。左側面扉付近に照明灯 & スイッチを設定。
④	納棺装置 ステンレス製のフレームにローラーを組合せた構造の納棺装置をボルトで床面に固定。 納棺装置は後端のレバーを後部側に倒す事により、ローラーが上方に上り御棺を前後方向にスライドできるようにしたもの。
⑤	御棺置き台(ステンレス板) 納棺装置の両脇にリベットで床面と側面に固定。 納棺装置のレバーが上がっている時(ローラーが下がっている)に御棺が置けるようにした台。
⑥	納棺室左右の骨格(縦壁部) 鉄製の角パイプを溶接付けで組んだものを車体側(床面・後面)にボルトで固定。 左右の骨格間(梁)は角パイプをリベットで固定、組付けしている。
⑦	納棺室前側の骨格 鉄製の角パイプを溶接付けで組んだものを車体側(床面)にボルトで固定。 右側の骨格とはリベットで固定、組付けしている。
⑧	御棺ストッパー(納棺装置フレームに差込み式) 前方側:ステンレス製パイプを逆Uの字形状に曲げたもの。 後方側:ステンレス製パイプと平板を溶接したフレームに御棺当て板を位置調整用ノブボルトで取付けたもの。
⑨	水抜き穴(納棺室床面前方) 納棺室前方の床面に水抜き装置がビスで固定されています。下方のフロア貫通部は接着剤でゴムホース周囲をシールしています。

▼主要部品の番号と写真

① 首長ブラケット:ビスで固定



合板接着

縁材:ビスで固定

② 納棺室扉

ステンレス板:ビスで固定



③ 納棺室内張り:リベットで固定



室内灯

点検口

④ 納棺装置:ボルトで固定



⑤ 御棺置き台:リベットで固定



⑥ 納棺室左右の骨格:ボルトで固定



⑦



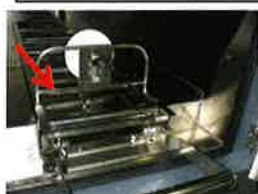
前側骨格

床下:ボルト・ナットで固定



緑色テープは関係ありません。

⑧ 後部側御棺スッパ



⑨

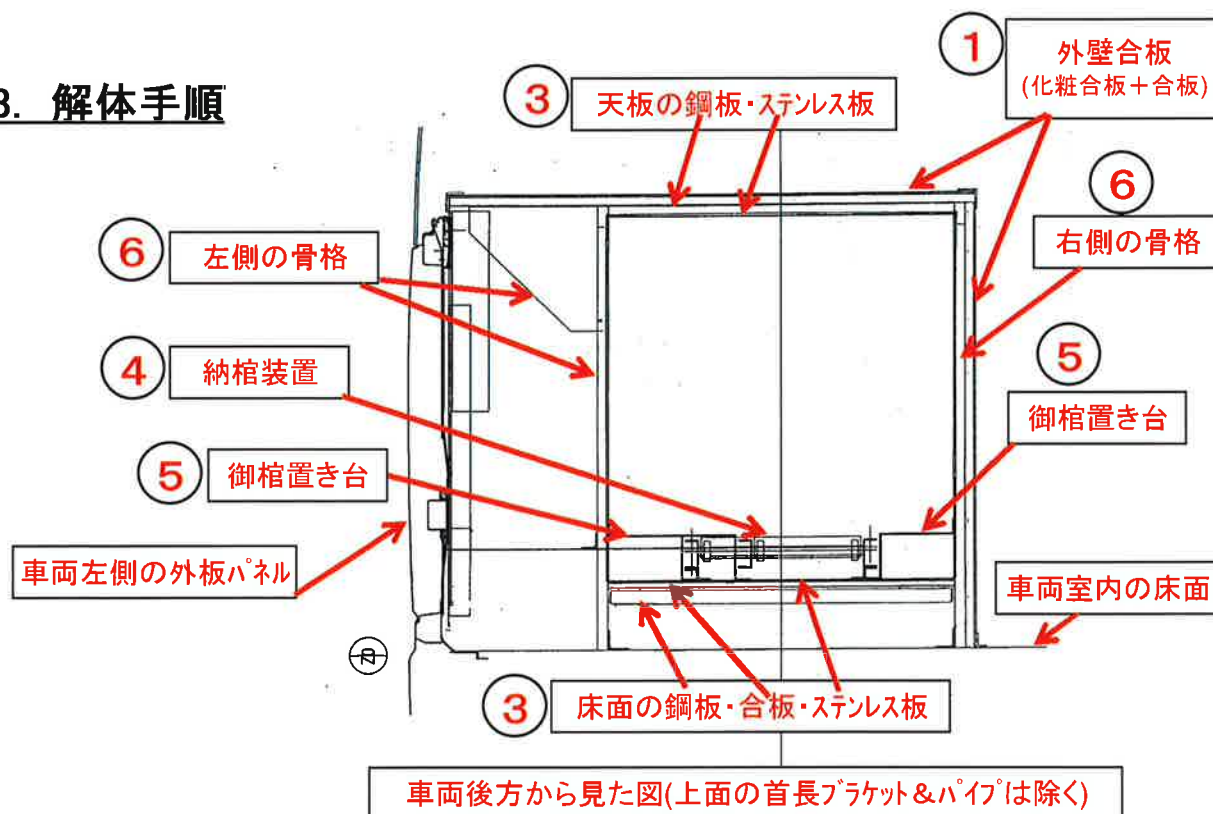


水抜き口(2ヶ所)

2. 解体時の留意事項

- 1) 作業を安全に行うため、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- 2) 高所作業については、安全帯、足場の確保等転落防止処置を講じてください。
- 3) 本車両に架装されている部品は、基本的にはボルト、ビス、リベット、接着による締結構造となっています。
解体に当たり、リベットの取り外しはドリルで、ボルト・ビスの取り外しは一般工具で作業が可能であり、特に専用工具の使用は必要ありません。
- 4) 架装部品の主な材料は前ページに示した通りです。
各種材料で組み付けられていますので、分別等の際し、適切な処理をして下さい。
樹脂部品については、専門の処理業者に処理を依頼して下さい。

3. 解体手順



- 1) 納棺室扉及び納棺室内の架装部品から解体して下さい。
 1. 扉ヒンジのビス外し、扉を外して下さい。
 2. 納棺装置は床にボルトで固定されていますのでこれを外して下さい。
 3. 左右の御棺置き台は床と側面にリベットを固定されていますので、ドリルで取り外して下さい。
 4. 内張り底面の前方部に水抜き口及び、下方のホースはビスと接着剤で固定されています。
工具で取り外して下さい。(接着剤はカッター等でカットして下さい。)
 5. 左側面の点検口蓋のビスを外し、室内灯及びスイッチを取り外して下さい。
 6. 納棺室内の内張り(ステンレス板)はリベットで固定されていますので、ドリルで取り外して下さい。
 7. 床面の合板は接着の為、カッター等で接着剤をカットして取り外して下さい。

2) 納棺室外壁の解体

1. 納棺室外壁天板上のパイプ固定用首長ブラケットはビスで固定されていますので、工具で外して下さい。
2. 納棺室外壁天板上の縁材(ステンレス板)はビスで固定されていますので、工具で外して下さい。
3. 納棺室外壁側面下方の縁材はビスで固定されていますので工具で、取り外して下さい。
4. 納棺室外壁の合板は接着されていますので、カッター等で接着剤をカットして取り外して下さい。

3) 骨格の解体

1. 左右の骨格を接続している床面の鉄製部材はボルトで固定されていますので、工具で取り外して下さい。
2. 左右の骨格を接続している上面の鉄製部材はリベットで固定されていますので、ドリルで取り外して下さい。
3. 左右の骨格は、床及び車体後部とボルトで固定されていますので、工具で取り外して下さい。

4) 扉本体の解体

1. 扉内面側のステンレス板はビスで固定されていますので、工具で取り外して下さい。
2. 取っ手及びロックはビスで固定されていますので、工具で取り外して下さい。

5) 納棺装置本体の解体

1. ローラーはフレームにピンで固定されていますので、工具でピンを抜き取り 外して下さい。
2. フレーム及びレバーはボルトで組み立てられていますので、工具で取り外して下さい。

4. 一般事項

- 1) 本車両に含まれている 断熱材、FRP・ABSの解体後処理については、
「適正処理・再資源化協力事業者一覧表」
社団法人 自動車車体工業会ホームページの掲載を参照し、適正に処理して下さい。
- 2) 本車両に含まれる特別架装部分での「使用済み商用車架装物の事前選別対象物」は
樹脂部品、ゴムホース です。
(基準車部分は除きます。)

▼以下の基準で処理をお願いします。

処理品目	鉄製部品、ステンレス部品、樹脂部品、ゴム部品、合板
危険区分	該当せず
産業廃棄物区分	廃樹脂類、ゴムホース、
代表的な除去方法	車両から取り外す
工場内保管方法	所定パレット内に保管
処分方法	シュレッダー業者又は専門回収会社に処理委託

2) お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関してのお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 オートワークス京都 コンバージョン事業部 京都事業所 技術グループ

TEL : 0774-46-7072